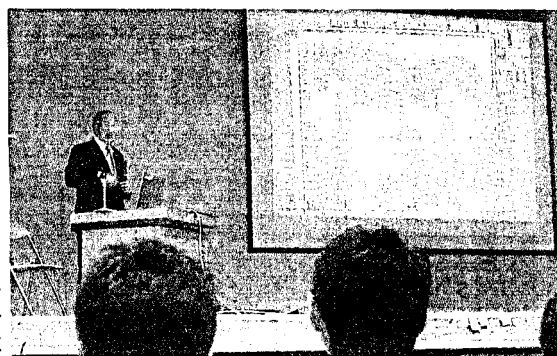


庄司校長先生より送られてきた
5月4日の河北新報の記事です。

仙台市青葉区の仙台二
高で一日、創立百九周年
記念講演会が開かれ、旧

OB名誉教授がエール

創立109周年 仙台二高で講演会



エコー画像を使い講演した和賀井名誉教授

制仙台二中の卒業生で順
天堂大学医学部の和賀井
敏夫名誉教授が在学中に
研究に懸ける思いを語
った。
和賀井さんは世界に先
駆けて超音波（エコー）
診断法を開発して実用化
した。講演ではエコーを
使った胎児や心臓の画像
を示し、「患者に苦痛を
与えない検査法を求めて
試行錯誤を重ねた。アイ
デアを形にするには努力
が必要だ」と述べた。
講演後は生徒と校歌を
熱唱。「何事も若さと勢
いで乗り越えてほしい」
とエールを送った。

私の10年日記帳。5年前の2004年5月11日・プロジェクトX。当日は和賀井先生の“創意無限”新しいことをやって人類の文明に尽くしていくこと。妻も私も久しぶりに良い番組だったと語り合った書いている。私達後輩も見習わなくてはと思います。

(2) 来月の北社会 開催日：6月29日（月）

講師：木村文彦氏（高12回）

テーマ：「モンゴルに魅せられて」

概要：

1996年をはじめ訪れたモンゴルの空は青く澄み切っていて広い
緑の草原に羊の群、美しい花や蝶、親切で働き者の牧民、美味
しいヨーグルトや馬乳酒・・・に魅せられてその後ずっと毎夏通い
続けることになりました。
しかし、市場経済移行後のモンゴルの社会・環境の変化はさまざま
しく、美しい自然が急速に失われつつあります。
モンゴルの花や蝶、子どもたちとの交流などを紹介しながら環境
問題についても考えてみたいと思います。

木村さんと同じく私もモンゴルは「心の故郷」です。来月はモンゴルの留学生数人も参加し、木村さんの環境問題への提言について拝聴させていただきたいとの申し出あります。

(3) 青葉繁れる杜の都あれこれ

まず、5月9日の対一高野球定期戦。4-3で二高が接戦を制した。一高にとっては男子校として対戦する最後の定期戦。「勝利して有終の美を飾ろう」と多くのOBや保護者らが加わった応援合戦にも一段と熱がこもった。と翌日報道したのは毎日新聞一社のみ。在仙の同期生が私に記事を送ってやるべ〜と河北を初め三大紙をコンビニで購入、毎日だけが小さな記事。河北が全く無視したのはオドロキ、我々が思う程ではなく、世間の関心は薄いのかもしれません。と書き送ってきました。

それから、高11回生は今春が卒業50周年記念。母校を散策して、夕方から70名弱が参集“仙台ピンピン会”が5月15日開催された。88才になられた高橋清久先生もお元気なお姿を見せ、ご挨拶〜乾杯の音頭と50年前を彷彿させていただきました。街のケヤキ並木、残雪いづく蔵王連峰、青葉繁れる杜の都は清々しく本当にキレイでした。